

クリチバ治安情報（軍警察総司令官等による銀行等利用者に対する注意喚起）

11月12日付パラナ・オンライン（サイト版）は、パラナ州軍警察総司令官他が銀行等を利用する際に強盗犯に狙われないために注意喚起をおこなっていることを報じていますので、概要を以下のとおりお知らせします。

1

（1）パラナ州軍警察総司令官によると、電撃誘拐の被害者の82%は危害を加えられないのに対し、強盗殺人の99%は、被害者が抵抗したために危害が加えられている。犯罪者は、女性よりも反応が予測しやすい男性を狙い。また、油断している人が狙われやすい。

（2）文民警察殺人課によると、銀行へ行く際または現金を使用する際は、人通り多い地域を選び、常に周囲を警戒する。なお施設を出る際には、強盗に狙われてないか更なる警戒が必要である。また、自家用車は、多くの車両が止められている駐車場に駐車する。

2 警察関係者からの防犯対処案

- （1）必要以上のキャッシュカード及びクレジットカードを所持しない。
- （2）直接銀行へ行くことは極力避け、送金等はネットバンキングを利用する。
- （3）強盗に襲われた際は、抵抗しない。

3 当館からのお願い

（1）不幸にして被害にあった場合、被害届をPolícia Civil（文民警察）に提出して下さい。

（2）また、被害拡大防止のため、在留邦人の皆さまと（個人情報をおふせの上）情報を共有するためにも当館（警備班）にご連絡いただきますようお願い致します。